

2016年10月7日

お客様各位

株式会社東芝 ストレージ&デバイスソリューション社

## 「FlashAir™におけるアクセス制限不備の脆弱性」 に関する報道について

平素は、弊社製品をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

2016年9月27日に JVN（Japan Vulnerability Notes、JPCERT コーディネーションセンターと独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が共同で運営している脆弱性対策情報ポータルサイト）にて公開されました「FlashAir™におけるアクセス制限不備の脆弱性」に関する各報道により、お客様にはご不安とご心配をお掛けしております。

この報道で指摘されている脆弱性は、「インターネット同時接続機能」をご利用になる時に、悪意を持った第三者によって FlashAir™ に保存されている情報を盗み見られたり、悪意のあるソフトウェアが書き込まれ、FlashAir™ を不正に操作することができる可能性がある、というものです。

インターネット同時接続機能を使用されていないお客様には、今回の報道にある脆弱性の影響はありません。インターネット同時接続機能は、初期状態では無効になっています。インターネット同時接続機能の設定は、FlashAir™ 設定ソフトウェアの「ネットワーク設定」や FlashAir™ アプリの「設定」>「FlashAir™ の設定」>「インターネット同時接続モード」でご確認いただけます。

また、FlashAir™ は初期状態では無線 LAN 接続しているスマートフォン、パソコン等から FlashAir™ へのデータの書き込みが無効になっており、FlashAir™ 設定ソフトウェアや FlashAir™ アプリからは有効にすることができません。無線 LAN 経由での FlashAir™ へのデータの書き込みが無効になっている場合は、万が一、悪意を持った第三者が FlashAir™ へ無線 LAN で接続できたとしても、FlashAir™ 内のソフトウェアを書き換えたり、実行したりすることはできません。



不用意に FlashAir™を一般公衆アクセスポイントなどへ接続してインターネット同時接続機能をご使用になると、報道されている脆弱性によって、悪意を持った第三者が FlashAir™に無線 LAN 経由でインターネットから接続し、FlashAir™に保存されている情報を盗み見られる可能性があります。

そのため、インターネット同時接続機能をご使用になるお客様は、接続先をお客様のお宅の無線 LAN ネットワークや、信頼のおける無線 LAN ネットワークに設定することをお勧めいたします。

なお、インターネット同時接続機能の有効/無効に関わらず、安心してお使いいただくため、購入直後や FlashAir™の初期化を行った際には、FlashAir™の SSID とパスワードの変更（初期設定）を確実に行って下さいますよう、改めてお願い申し上げます。初期設定を行っていない FlashAir™をご使用の場合、FlashAir™設定ソフトウェアや FlashAir™アプリに SSID とパスワードを変更するための画面が自動的に表示されます。

以上